

DASYLab[®]

aPCI-G01 実用アプリケーション集

- 1. はじめに 1
- 2. 実用アプリケーションを使用する前に 1
- 3. 実用アプリケーションの使い方 2

ご注意

1. このソフトウェアの著作権は、measX 及び株式会社アドテックシステムサイエンスにあります。
2. このマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
3. このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
4. このソフトウェアの仕様、およびマニュアルの内容は、将来予告なく変更することがあります。
5. **DASYLab** は measX の登録商標です。その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

measX GmbH & Co.KG.

Trompeterallee 110,

41189 Mönchengladbach, Germany

Tel. +49 - 2166 - 95 20 0 FAX +49 - 2166 - 95 20 20

株式会社 アドテックシステムサイエンス テクニカルサポート

〒240-0005 横浜市保土ヶ谷区神戸町 134 YBP ウエストタワー8F

E-Mail: support@adtek.co.jp

Fax : (045)331-7770

1. はじめに

本書は、aPCI-G01 実用アプリケーション（**DASYLab** ワークシート）に関する解説書です。

2. 実用アプリケーションを使用する前に...

以下は、**DASYLab** が既にインストールされていることを前提としております。
DASYLab のインストール方法は **DASYLab** ユーザーズマニュアルをご参照ください。

1. aPCI-G01 取扱説明書にしたがって、ボードを接続し、デバイスドライバをインストールしてください。
2. 本書と同じフォルダの **Readme.txt** にしたがって、必要なファイルをコピーし、**DASYLab** への登録を行ってください。
3. 本書 P.2 より実用アプリケーションについての仕様説明が記述されています。実用アプリケーションご使用前に必ずご確認ください。

3. 実用アプリケーションの使い方

次の実用アプリケーション（DASYLab ワークシート）が添付されています。

HP 3478A（デジタル・マルチメータ）

aPCI-G01-HP-3478A-Analog.dsb

aPCI-G01-HP-3478A-Digital.dsb

aPCI-G01-HP-3478A-Recorder.dsb

：それぞれアナログ表示、デジタル表示、チャート表示をするワークシート

ADVANTEST R6871E（デジタル・マルチメータ）

aPCI-G01-ADVANTEST-R6871E-Analog.dsb

aPCI-G01-ADVANTEST-R6871E-Digital.dsb

aPCI-G01-ADVANTEST-R6871E-Recorder.dsb

：それぞれアナログ表示、デジタル表示、チャート表示をするワークシート

ADVANTEST R6161（プログラマブル標準直流電圧 / 電流発生器）

aPCI-G01-ADVANTEST-R6161-A???.dsb

：0V 2.5V 5V 0V という変化を続けるワークシート

aPCI-G01-ADVANTEST-R6161-B???.dsb

：-10V 0V 10V -10V という変化を続けるワークシート

NF 回路設計ブロック WAVE FACTORY 1941（マルチファンクションシンセサイザ）

aPCI-G01-NF-WF1941-A???.dsb

：100Hz 250Hz 500Hz 100Hz という変化を続けるワークシート

aPCI-G01-NF-WF1941-B???.dsb


：Sin 波 三角波 方形波 Sin 波 という変化を続けるワークシート

3-1. 実用アプリケーションを開く

DASYLab を起動し、メニューから **ファイル(F)** - **開く(O)...** を選択するか、 をクリックしてください。

ワークシート一覧の中からいずれかのファイルを選択し、**開く(O)** をクリックしてください。

3-2. 実用アプリケーションの実行

メニューから **実行(X)** - **開始(S)** を選択するか、実行開始ボタン  をクリックしてください。

DASYLab の実行が開始されると、用意された表示ウィンドウが現れます。aPCI-G01 から取り込んだデータはアプリケーションにあった方法で表示されます。

3-3. アドレス設定変更方法

用意されているワークシートの機器のアドレス設定はそれぞれまちまちです。ご使用の環境に応じて機器アドレスの設定を変更する必要があります。

ワークシートをロード後、以下の手順で変更してください。

また、モジュールの詳しい使用法についてはヘルプファイル「EXPCIG01.hlp」を、各機器のコマンド等については各機器のマニュアルをご参照ください。

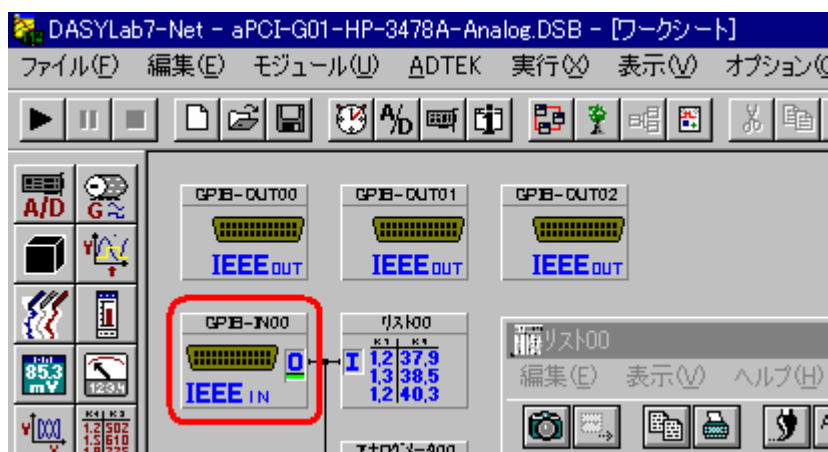
入力モジュールの場合：

ワークシート上の GP-IB 入力モジュールをダブルクリックして、設定ダイアログボックスの中でアドレス設定を変更します。

ワークシート上での GP-IB 入力モジュールは下図の丸で囲った部分です。

入力モジュールを使用していないワークシートもあります。

[入力モジュールの場合]



下図の丸で囲った部分の数値をご使用の機器アドレスと一致するように変更してください。必要であれば二次アドレスも変更してください。

[入力モジュールの設定ダイアログボックス]



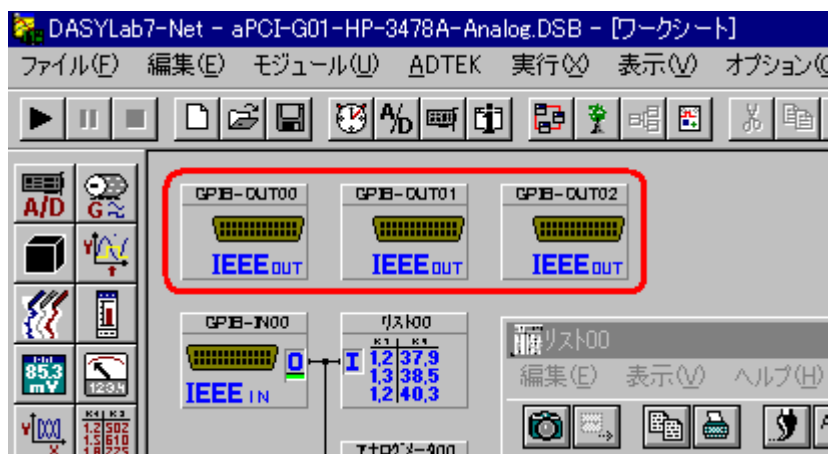
出力モジュールの場合：

ワークシート上の GP-IB 出力モジュールをダブルクリックして、設定ダイアログボックスの中でアドレス設定を変更します。

ワークシート上での GP-IB 出力モジュールは下図の丸で囲った部分です。

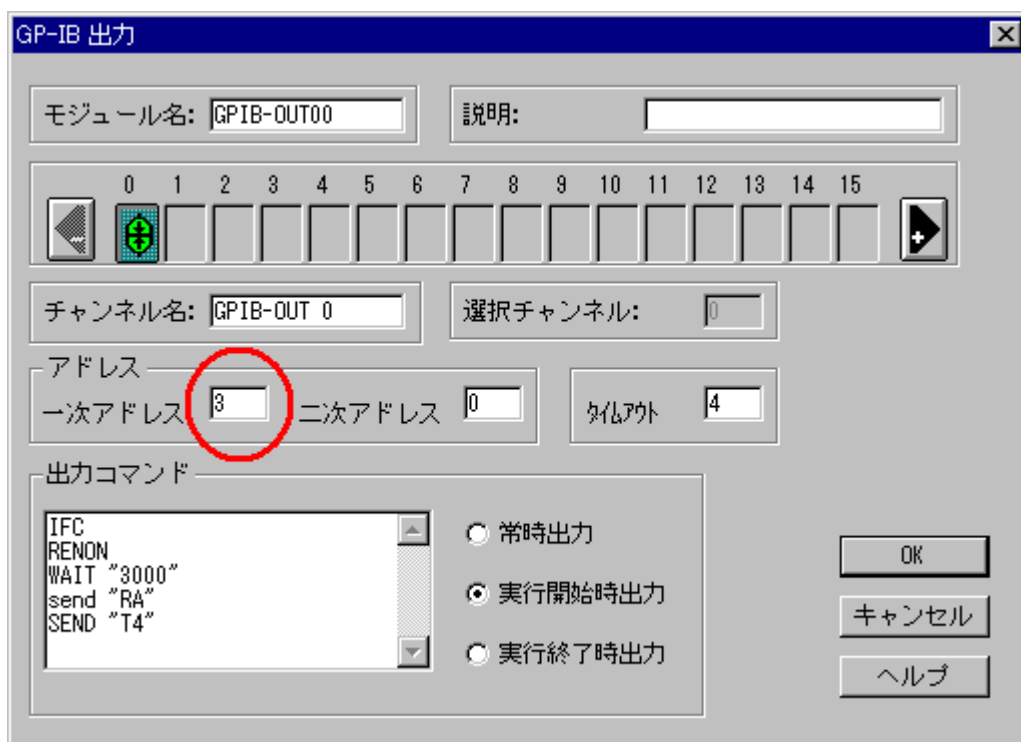
出力モジュールの場合、ひとつのワークシートに 3 個存在するので、それぞれ、設定を変更してください。

[出力モジュールの場合]



下図の丸で囲った部分の数値をご使用の機器アドレスと一致するように変更してください。必要であれば二次アドレスも変更してください。

[出力モジュールの設定ダイアログボックス]



DASYLab®

aPCI-G01 実用アプリケーション集

平成 17 年 2 月 1 日 初版発行

株式会社アドテックシステムサイエンス

〒240-0005 横浜市保土ヶ谷区神戸町 134

YBP ウエストタワー8F